

Miyazaki International College  
Course Syllabus  
Fall 2018

Course Title ( Credits )	EDU308 : 英語科教育法 2 (2 credits)
Course Designation for TC	教員の免許状取得のための必修科目 【科目】 教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語) 【各科目に含めることが必要な事項】 各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)
<b>Content Teacher</b>	
Instructor	樋口 晶彦 (単独)
E-mail address	ahiguchi@sky.miyazaki-mic.ac.jp
Office/Ext	1-413
Office hours	オフィスのドアに記載されています。
<b>Language Teacher</b>	
Instructor	
E-mail address	
Office/Ext	
Office hours	

**Course Description:**

中学校及び高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける。英語科教育法 1～4 の最初の科目であり、英語科教育の基礎的な事項及び必修の項目についての理論的な説明および指導実践上の要点が中心となる。特に現行の学習指導要領の理解と伝達重視の英語教育に基づいた四技能の指導と評価、異文化理解教育などの知識と授業、学習評価の基礎を理解して実践力を身に着けること。

**【全体目標】**

中学校及び高等学校における外国語（英語）の学習・指導に関する知識と授業指導及び学習評価の基礎を身に付ける。

**Course Objectives:**

**【一般目標】**

(1)カリキュラム／シラバス

中学校及び高等学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書（教科書）について理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解する。また、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領並びに教材、教科書について知るとともに、小・中・高等学校の連携の在り方について理解する。

(2)生徒の資質・能力を高める指導

中学校及び高等学校における3つの資質・能力を踏まえた「5つの領域」（「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」及び「書くこと」）の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。また、教材や ICT の活用方法を知るとともに、英語による授業展開や ALT 等とのティーム・ティーチングの方法について理解する。さらに、生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。

(3)授業づくり

中学校及び高等学校の学習到達目標に基づく各学年や科目（高等学校）の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。

(4)学習評価

中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、さらに、評定への総括の仕方について理解する。また、言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと [やり取り・発表]」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」（生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法）について理解する。

(5)第二言語習得論

学習者が第二言語・外国語を習得するプロセスについて基礎的な内容を理解して授業指導に生かすことができる。

**【到達目標】**

(1)カリキュラム／シラバス

1)中学校及び高等学校の外国語（英語）の学習指導要領について理解している。

2)中学校及び高等学校の外国語（英語）の教科書について理解している。

- 3)学習指導要領の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力（以下、「3つの資質・能力」という）とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。
- 4)小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教科書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

(2)生徒の資質・能力を高める指導

- 1)聞くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 2)読むことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 3)話すこと [やり取り・発表] の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 4)書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 5)複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 6)英語の音声的な特徴に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 7)文字の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 8)語彙、表現に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 9)文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 10)異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 11)教材及び ICT の活用について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 12)英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- 13)ALT 等とのティーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- 14)生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。

(3)授業づくり

- 1)学習到達目標に基づく授業の組立てについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- 2)学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。

(4)学習評価

- 1)観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。
- 2)言語能力の測定と評価（パフォーマンス評価等を含む）について理解し、指導に生かすことができる。

(5)第二言語習得論

- 1)第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。


Course Schedule

Day	Topic, Content/Activities
1	コースの概要説明、参考文献の提示（授業の進め方、予習方法についての説明）
2	学習指導要領(小学校外国語、中学校外国語、高等学校外国語)（目標(1)-1),(2),(3),(4)）
3	文科省検定教科書（小学校、中学校、高等学校）の紹介（目標(1)-1),(2),(4)）
4	国際語としての英語Ⅱ（目標(2)-10)）
5	リスニングの指導と評価Ⅱ（目標(1)-3),(2)-1),(3)-1),(2)）
6	Writing の指導と評価Ⅲ 指導の観点から（目標(1)-3),(2)-4),(3)-1),(2),(5)-1)）
7	Writing の指導と評価Ⅳ 評価の観点から（目標(1)-3),(2)-4),(3)-1),(2),(4)-1),(2),(5)-1)）
8	Speaking の指導と評価Ⅱ（目標(1)-1),(2),(3),(2)-3),(3)-1),(2),(4)-1),(2),(5)-1)）
9	読解の指導と評価Ⅱ（目標(1)-3),(2)-2),(3)-1),(2),(4)-1),(2)）
10	伝達重視の言語テストⅡ 指導の観点から（目標(1)-3),(2)-1),(2),(3),(4),(5),(4)-1),(2)）
11	伝達重視の言語テストⅢ 評価の観点から（目標(1)-3),(2)-1),(2),(3),(4),(5),(4)-1),(2)）
12	異文化理解教育Ⅱ（目標(2)-1),(2),(3),(4),(5),(10)）
13	ICT 導入の指導、Team Teaching の在り方Ⅰ ICT の活用（目標(2)-11),(13)）
14	ICT 導入の指導、Team Teaching の在り方Ⅱ ALT との授業（目標(2)-11),(13)）
15	教師論（目標(2)-12),(13),(14)）
	期末試験

Required Materials:

テキスト：『21世紀の英語科教育』 開隆堂  
 参考書：JACET 教育問題研究会（編）『英語科教育の基礎と実践』 三修社 ISBN: 978-4-384-05682-2  
 『中学校学習指導要領解説 外国語編』『高等学校学習指導要領解説 外国語編』  
 『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』  
 参考資料等：授業内でプリントを配布する。

Course Policies (Attendance, etc.)
1/3 以上の欠席は自動的に不合格になります。
Class Preparation and Review
Students are expected to spend at least one hour reviewing and doing homework and one hour preparing for every hour of lesson time. (事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) 予習：テキストの指定された箇所を読んで、内容をまとめた上で授業に臨んでください。
Grades and Grading Standards
学期末試験(80%)、課題レポート等(20%) 講義全体の三分の一以上の欠席は自動的に評価の対象外となる。
Methods of Feedback:
レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
Diploma Policy Objectives:
Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s): 4: Advanced communicative proficiency in both Japanese and English
Notes:
真剣に授業に取り組むこと。英語科教育法の基本的な最初の科目であり、課題、内容ともかなりの努力を要することを銘記しておくこと。

<p>文部科学省から採択された 大学教育再生加速プログラム</p> 		Advanced	Proficient	Developing	Emerging	No Attempt
Critical Thinking	Ability to Identify & Solve Problems	Insightful comments in class discussions Student shows proven ability to analyze data, gather and assess resources, and disseminate opinions in a scholarly manner.	Able to contribute to class discussions, and to perform a basic analysis of data, gather and assess resources, and express opinions in an adequate manner.	Beginning to visualize the ways in which information can be combined and applied to solving a given problem, but struggles with complex and relationships	Student shows motivation but must learn the concepts and mechanisms that apply to critical thinking, such as information gathering, assessment and synthesis	
	Information Gathering					
	Assessment of Credibility					
Advanced Communication Proficiency	Public Speaking	Speaking is clear, using a broad range of vocabulary and relative jargon. Student uses appropriate social cues and nuance.	Able to create a relevant response when asked to express an opinion or respond to a complicated situation, but pronunciation and grammar can often make responses and explanations unclear to a listener and must be interpreted.	Able to answer questions and give basic information. However, inconsistent intonation and stress may sometimes make their responses difficult to understand or interpret.	Student is unsuccessful or finds it very difficult when attempting to explain an opinion or respond to a complicated scenario. The response may be limited to a single sentence or part of a sentence.	
	Social Skills					
	Professional Skills					
Global Perspectives	Cultural Relevancy	Fully engaged in current events and shows and understanding of social inequalities and cultural differences.	Student is aware of current events and world cultures, but is unable to apply macro-level situations to her/his own life.	Exhibits interest and intrigue in current events and world culture, but has difficulty understanding relevancy.	Student expresses one-sided ideals from an ethnocentric point of view. Completely lacks awareness of world issues or events.	Insufficient effort or evidence of achievement
	Awareness of Current Events & Global Issues					
	Reading	Exhibits fluency/near fluency in speaking and writing. Grammar and reading ability similar to native English speaker. Able to use context clues when faced with unfamiliar vocabulary.	Proficient English ability; relies mainly on familiar vocabulary. Should be encouraged to advance beyond comfort zone.	Adequate English ability; must reference dictionary often	Student has some English ability, but lacks confidence in using and understanding. Very limited vocabulary with grammar and pronunciation Unable to form questions	
English Language Ability	Writing					
	Oral Communication					
	Reading					
Japanese Language Ability	Reading	Able to express one's self clearly and succinctly both in writing and orally. Able to use context clues when faced with unfamiliar vocabulary.	Proficient oral and written communication; relies mainly on familiar vocabulary. Should be encouraged to advance beyond comfort zone.	Adequate oral and written communication; tends to have difficulty clearly expressing ideas.	Student shows a lack of confidence in writing, reading, and oral communication. Very limited vocabulary knowledge, struggles with grammar Unable to form questions	
	Writing					
	Oral Communication					